



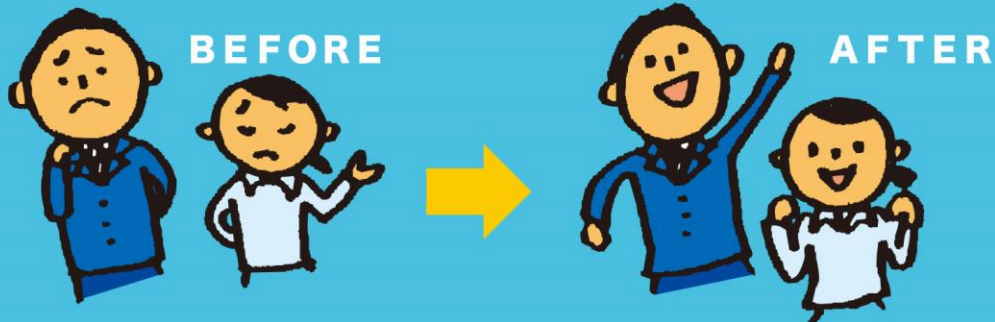
月刊音声セミナー

店長たちの

「自分ブランド戦略」

1

ブランド戦略の専門家 村尾隆介



日本で働くリーダーたちに贈る！

人が集まる人になるためのノウハウ。

ブランド戦略のフォアランナー・村尾隆介
による月刊音声セミナーのテキスト版！

村尾 隆介

目次

- 第1章 店長のブランド力で店の売上は10%以上変わる。自分のブランド力を上げる考え方は？
ブランド力があるお店のちょっとした心遣い
ブランド力次第で喫茶店でも外資系カフェと十分張りあえる
- 第2章 お客様のシチュエーションを感じる力が絶対に必要だ
お店にルールが存在しなければ、積み上げてきたブランドはゼロになる
- 第3章 悩みや相談を解消する誌上コンサルティンク
従業員がやる気をなくすのは、リーダーシップではなくブランドの問題
教育方針を決める意思決定機関にアプローチを
会話と相互理解をあなたは勘違いしていないか？
信念や自分軸を持つことが10年後に憧れの人になる秘訣
- 第4章 明日からすぐにも実践できるリーダーシップ講座
部下の信頼を得るには正しいコミュニケーションを取ること
- 第5章 モチベーションを最大に上げる店長のためのパワーソング
うるさすぎず、静かすぎずがいい

※本テキストは、音声セミナー「店長たちの『自分ブランド戦略』」第1号を抜粋・編集して制作したものです。

その店舗の売上を左右する店長という存在。特にブランド力のある店長であるかそうでないかによって、売上は大きく変化します。とはいえ、どうやってブランド力を上げていくか悩む人が多いのも事実。小さなブランドの専門家として全国で講演やセミナー、コンサルティンクの実績がある村尾隆が店長のための自分ブランドについて語ります。

店長のブランド力で店の売上は10%以上変わる。自分のブランド力を上げる考え方は？

ブランド力があるお店のちょっとした心遣い

早川 プロインタビュアーの早川洋平です。今月から始まったプログラム「店長たちの『自分ブランド戦略』」。小さな会社のブランド戦略の専門家として、日本全国の会社やお店に行ってコンサルティンクをされている村尾隆介さんを毎月お迎えして、店長さんへ向けた自分ブランド戦略を紹介していきます。村尾さん、今日はよろしくお願いたします。

村尾 よろしくお願いたします。

早川 今日の村尾さんの服装を解説すると……黒いニットセーターに、白い水玉の赤いネクタイをされている。帽子もかぶられている……こうした村尾さんの服のこだわりにも触れて、普通のセミナーとは違った楽しい学びの機会が提供できるように頑張りたいと思います。では、さっそくですが、なぜ店長は自分ブランド戦略をしなければならないのか？ そのあたりからお話を聞かせてください。

村尾 僕は普段、いろいろな小売店や飲食店のブランド戦略を仕事にしているのですが、特にお店の売上は店長次第で大きく左右されることがとても多いんです。中でもブランド力のある店長がいるかないかで、その店の売上は大きく変化します。実感としては、ブランド力がない店長と比べて少ない場合でも数パーセント、多い場合では10%ぐらい売上が違う。このプログラムを通じて、店長はもちろんなること、店長を統括する立場の小さな会社の社長さんなど自分のブランド力を上げられるようにしていければと思います。

早川 なるほど。とはいえ、今まで自分ブランド戦略をまったく考えていなかった店長や小さな会社の社長にとっては、ブランドと聞いてもなかなか漠然としてイメージしにくいのではないかなと思います。そこで、具

体的にブランド力のある店長、お店を挙げていきながら、自分ブランド戦略の全体像に切り込んでいきたいと思えます。そこで村尾さん、最近、印象に残ったお店や店長はありますか？

村尾 そうですね。僕は「小さなブランドの専門家」である前に、プロの消費者でもあるので(笑)。「自分だったらこうするのに」とか、「逆にこういうところいいな」ということをよく見ているんですね。先週末もマッサージに行っただんです。

早川 あゝ。いいですね(笑)

村尾 で、全身のマッサージをやってもらおうと思いましたが、2月初旬だから、いくら部屋の中に暖房がついているといっても、マッサージ用の服に着替えるのは寒いじゃないですか。

早川 そうですね。ちよつと勇気いりますよね。

村尾 大抵のマッサージ店の場合、マッサージ用の服って量販店で買った短パンとTシャツが用意されていて、「こちらに着替えてください、着替えが終わった頃に再度お伺いします」という感じで、その服がまたとっても冷たい。身体が凍えるような冷たさになってしまふわけですよ。ところが、そのお店は、湯たんぽで服が温められていたんですね。

早川 すごい。秀吉じゃないですか(笑)

村尾 そうなんです。秀吉です(笑)。秀吉なみのホスピタリティがそのリラクゼーションルームにはあつたんです。しかも、心憎いことに、湯たんぽが見えないようになっていて、Tシャツと半ズボンの間に湯たんぽが入っている。これだったら温かいから着替えても凍えないと。すばらしいなと思いましたが、これが最近行ったお店で僕が感心したいいことです。

ブランド力次第で喫茶店でも外資系カフェと十分張りあえる

早川 フェイスブックでいえば「いいね！」ですね。

村尾 早川さんは最近、行ったお店で「いいね！」ありましたか？

早川 僕はノマド族なので(笑)、ルノアールをよく使います。忙しい時間に店に迷惑をかけたくないと思うので、あまり混んでない時間に行くんですね。ところが1人分の席はとも小さく、パソコンを置くとも狭くなる。もちろん、他の席を占領するわけにはいかないの、仕事を続けていまして。すると、店長らしき人が来て、狭いと思うので隣の席とくっつけてくださいと提案してくれたと。シンプルな心遣いですが、これもすごくうれしい。ルノアールのすごさは、それだけじゃないんですね。他のお店にいつても同じサービスが受けられる。だから、ルノアールの社長にそういう理念でやっているのか、いつか聞いてみたいですね。

村尾 「スターバックス」や「タリーズ」などシアトル系のカフェが都内に次々と出店して、競争が激化しています。その中でルノアールってどちらかという旧の部類に入るいわゆる「喫茶店」なのに、独自性を出している。みなさんも一度行ってみることをおすすめします。最近、会議室を併設したり、個人で仕事ができるように個室を用意したりとかね。ノマド族のためにいろいろサービスを考えているのが、ルノアールの新しい戦略だったりします。早川さんはコーヒーとか頼まれた後に、チェーサーとしてお茶とか出されますか？

早川 あ、出されます。ということは、村尾さんも行っているんですね(笑)

村尾 結構、いいお茶が出てくるんですね。僕は水道橋店によく行っていますけれども(笑)。ルノアール。これが早川さんのいいお店の例ですね。

サンプル版はここまでです。続きは、アマゾンにてダウンロードしてお楽しみ下さい。

店長たちの自分ブランド戦略 第1号【印刷可能PDF版プレゼント付】「Kindle版」

<http://bit.ly/muraotencyo1>

村尾隆介の音声セミナーが2作同時リリース！

店長たちの「自分ブランド戦略」

(本テキストのもととなった音声セミナーです)

<http://www.starbrand.co.jp/services/voice/category/tancho/>

ベストセラー『小さな会社のブランド戦略 (PHP)』の著者・村尾隆介は、企業のブランディングのみならず、個人のブランド戦略にも深く関わっています。

過去10年のキャリアの中で、行き着いたひとつの結論は、「店長の姿勢や見せ方次第で大きく変わる」という点です。

キクタスのプロインタビュアー早川洋平さんと軽快なトークで、毎月お届けするこの音声セミナーは、全国の店長やマネージャークラスとして働く社会人、店長を統括する立場にいる方や、小さな会社の経営者の質問から織り成される、いわばオンラインのコンサルディング。

通勤時はこちらの「こと、職場で仲間と一緒に聞くのもオススメです。

この音声セミナーの内容 (企画や時期によって変わることがあります)

1. 最近、お店で感じた「GOOD」と「BAD」
2. オンラインコンサルディング (質問に対する回答)
3. 明日から取り組めるリーダーシップ
4. 店長のためのパワーソングの紹介
5. プレゼントコーナーとエンディング

村尾隆介の「出版deブランディング」

<http://www.starbrand.co.jp/services/voice/category/murao/>

経営者やプロアスリートなどの「個人のブランド戦略」にも深く関わる村尾隆介が軽快なトークで毎月お届けする音声セミナー。「これから出版をしたい!」「出版をしたものの、その後の自分の見せ方に悩んでいる」という全国の方々からの質問を中心に展開をしています。

また、この音声セミナーでは作家・村尾隆介の裏舞台もお見せします。今後の出版計画や、その時代背景、そして制作のノウハウや雰囲気は、ここでしか聞けない話。出版に興味を抱く方には、きっと参考になると思います。

この音声セミナーの内容 (企画や時期によって変わることがあります)

1. オープニング…最近、本屋で感じたこと
2. 村尾隆介…未来の出版物 (仮題の発表と秘話)
3. 出版に関するリスナーからの質問・回答 (オンラインコンサル)
4. 集中力を高めるためのパワーソングの紹介
5. プレゼントコーナーとエンディング

発行日 2012年3月10日第1版

著者 村尾隆介

執筆協力 宇治川裕

編集協力 三村真佑美

制作 Textrage 編集部

〒244-0804

横浜市戸塚区前田町516-1-B-110

MAIL : tr-inquiry@kigtas.jp

URL : <http://kigtas.jp/>

©2013 Ryu Murao, Printed in Japan

本作品の内容を無断で複製・複写・放送・データ配信などすることは、固くお断りいたします。